

## 学びのふりかえり ～ 全国学力・学習状況調査の結果報告 ～

学期末を迎え、連絡票を配付します。各教科の学習状況は、各教科担任からのメッセージでもあります。進学先の選考資料の一部になる評価・評定ですが、本来は、これまでの取組に自信をもったり、今後の取組を改善したりするためのものです。どのように取り組めばいいかわからない場合には、いつでも各教科担任に相談してほしいと思います。

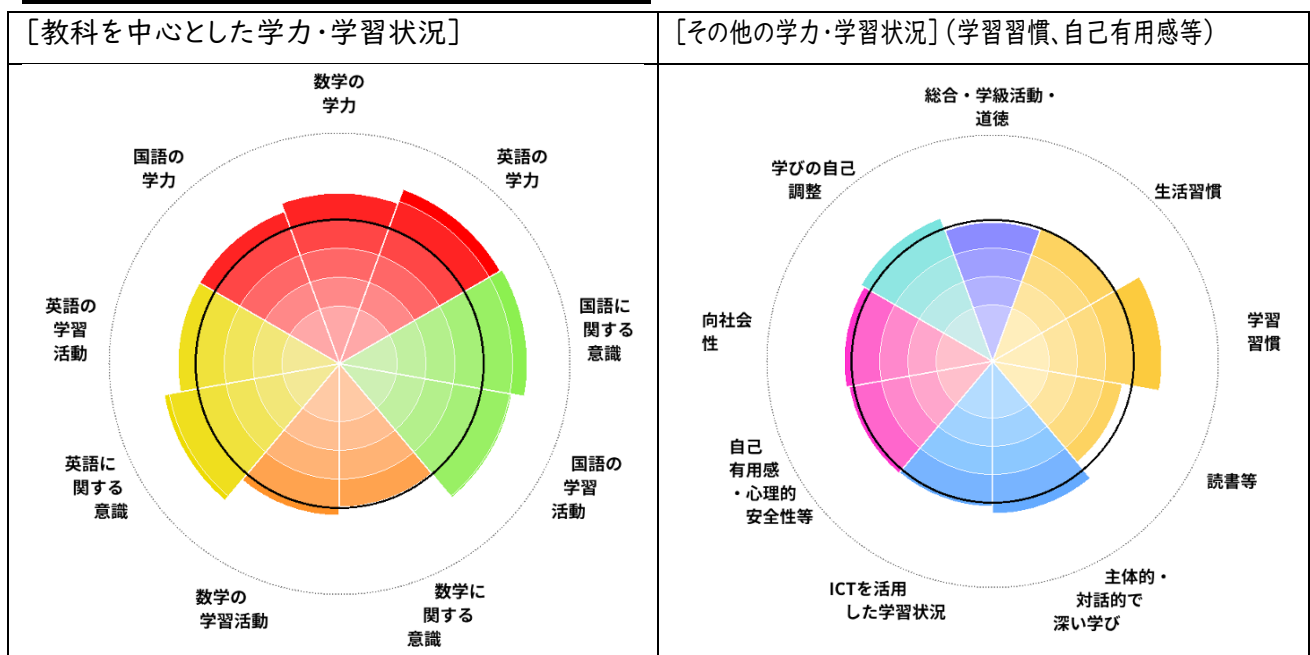
また、4月に全国学力・学習状況調査（3年生のみ）、5月に横浜市学力・学習状況調査（全学年）を実施しました。3年生には、全国学・状の全科目の採点結果が届きしだい個人票を配付する予定です。学校の連絡票だけでなく、こちらも今後の学習に活用してほしいと思います。

7月には、本校の授業評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。アンケートの結果を踏まえ、校内で研修会を実施しました。市と全国の学力・学習状況調査の結果についても分析し、授業力の向上につなげていきます。

令和8年度全国学力・学習状況調査

### 全国学力・学習状況調査結果チャート 横浜市立岩崎中学校

※円（実線）は全国平均



3年生が取り組んだ全国学力・学習状況調査（国語と数学。本年度は英語も）の結果を分析してみると、それぞれの教科における学力が全国の平均と比べて高いことが見て取れます。それと比例するかのように、学習習慣に関する数値が高い一方で、生活習慣に関する数値は全国平均並みです。これは、睡眠と朝食の習慣について、全国平均並みであることを意味します。

◇国がまとめた全国学力・学習状況調査の結果はこちら

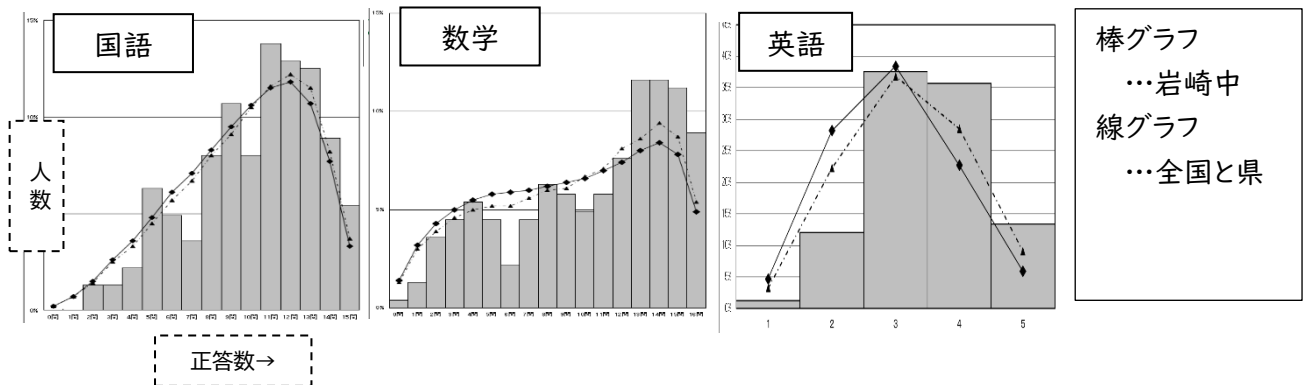
<https://www.nier.go.jp/26chousakekkahoukoku/index.html>

# 1. 教科の学力や学習に対する興味・関心について

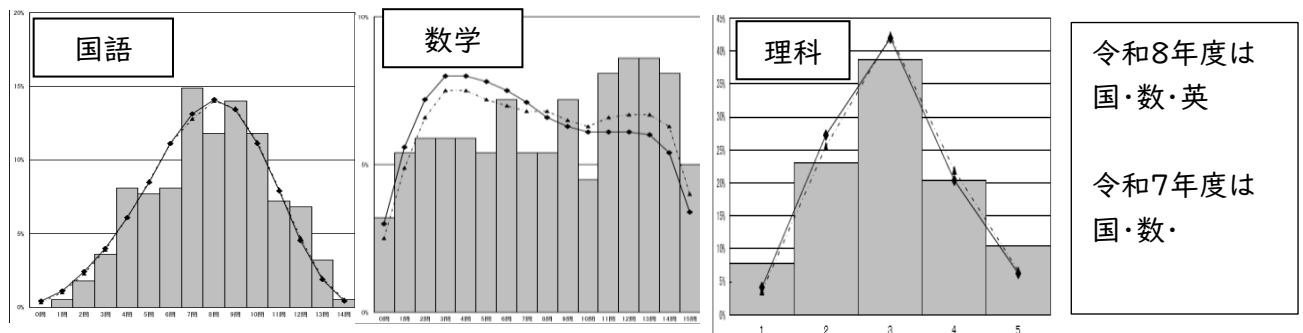
## (1) 概要

これらのグラフは、得点ごとの人数分布を表しており、右に行くほど高得点となっています。棒グラフである本校は、全国や県の傾向と、ある程度共通していると言えます。一方で、昨年度と比べると、その年度の出題に違いがあることや、同じ中学校とは言え同じ集団ではありませんので、当然「岩崎中学校では…」と一言でくることはできません。

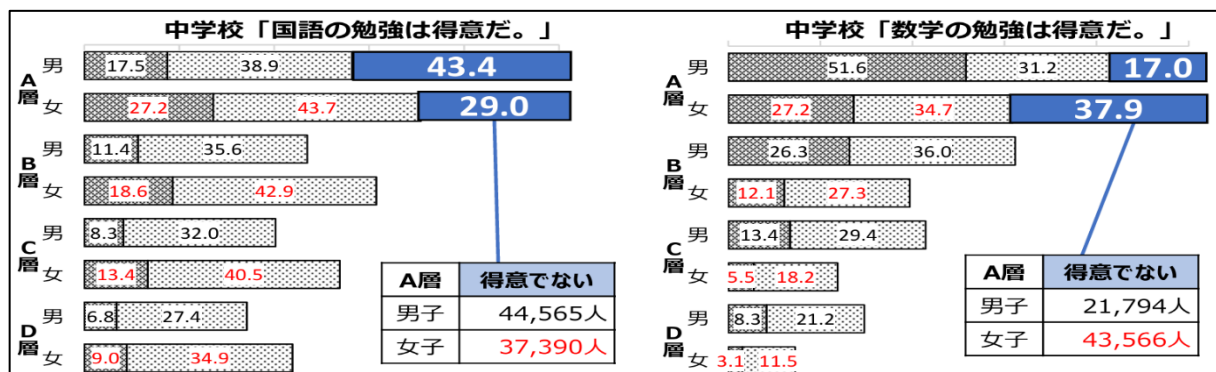
### 【令和8年度】



### 【令和7年度】



その中でも、右側に比較的大きい集団が見られます。特に令和8年度の数学では、約8割（16問中13問）以上正解した生徒が約100名おり、学校は、この集団が引き続き右側にとどまるように支援していきます。ただし、正答率が高い生徒の集団（A層）の中にも、意外に多くの生徒が「得意ではない」と回答しているデータが全国的な傾向として出ています。

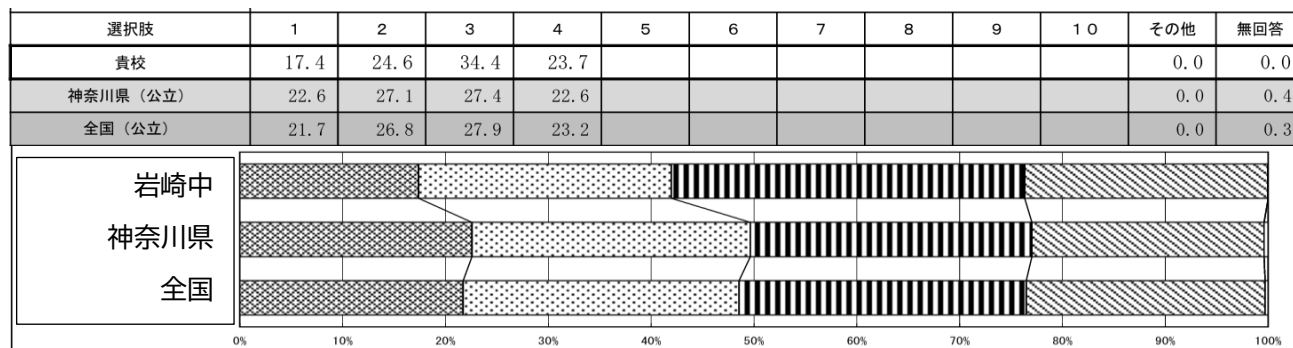


令和7年度の調査結果より ※A層…正答率が高い集団

数学の学力について全国平均を大きく上回っている岩崎中学校についても、同様の結果がうかがえます。

1. 当てはまる      2. どちらかと言えば当てはまる      3. どちらかと言えば当てはまらない      4. 当てはまらない

【質問】「数学の勉強は得意ですか」

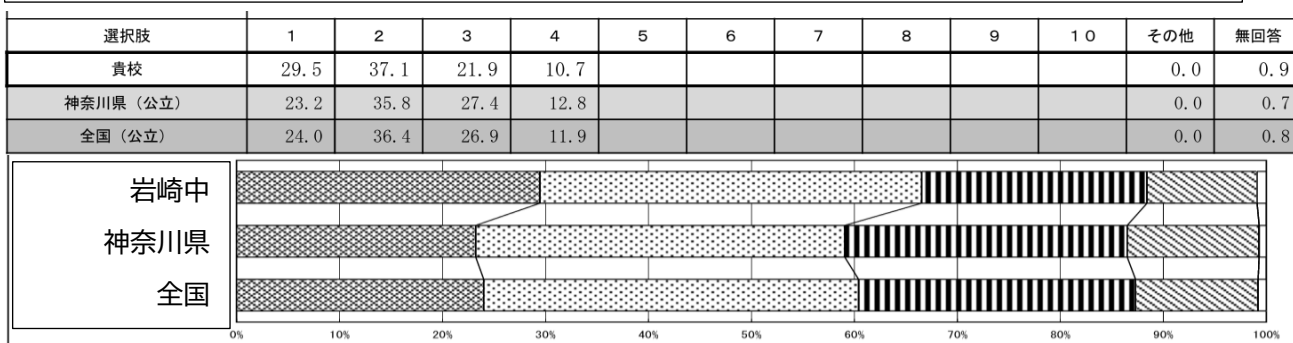


「得意ですか」との質問に「得意です（当てはまる）」とダイレクトに回答できる生徒は、そこまで多くないのかもしれませんが、いずれにしても、「分かる、得意だ」の意味は、「たくさん知識を暗記している」というものではありません。日々の授業を通して身に付けたいのは、「粘り強く考え、一つではない正解の中から、自分なりの解について理由を示しながら説明する」ような力です。誤解を恐れずに言えば、「じっくり考えることは面倒くさい」と思っていた生徒が、「より深く思考し、自分なりの言葉で表現すること」を嫌がらなくなるのを期待しています。読書と学力の相関関係を示すデータもありますが、文章をじっくり読んで理解する力が、スポーツにおける基礎体力のような役割を果たしているのではないのでしょうか。そんな学習の基礎体力づくりが習慣化され、思考を繰り返すことが当たり前になっているのならば、「〇〇の勉強は得意だ」と自信をもって言ってほしいと思います。

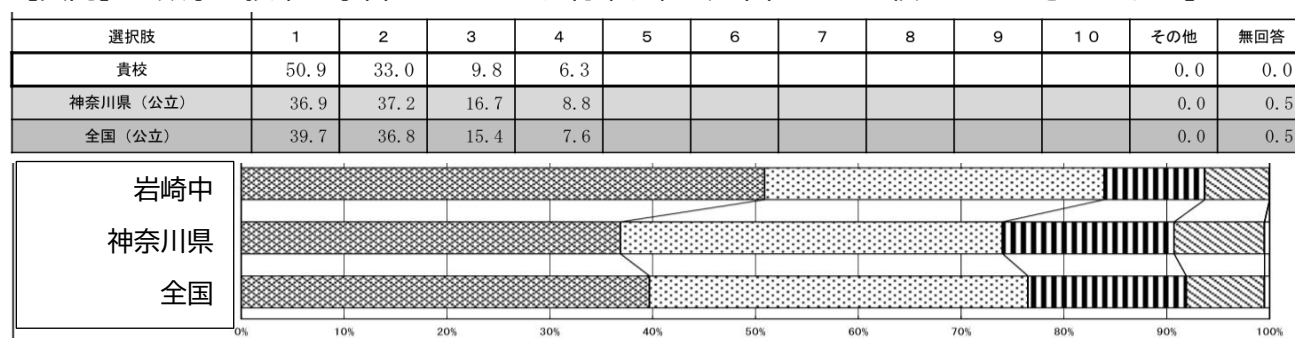
次のデータはそのことを示しており、だからこそその正答率だと思います。

【質問】「1、2年生のときに受けた授業では、数学の授業で、  
どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか」

1. 当てはまる      2. どちらかと言えば当てはまる      3. どちらかと言えば当てはまらない      4. 当てはまらない



【質問】「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」



これらの結果を踏まえ、各教科の授業では、学習内容に疑問を持ち、考えの理由を説明させるような活動や、習得した知識を普段の生活や現実の事象と関連づけられるような授業を行っていきます。生徒の皆さんには、今回の結果を一人ひとりが分析し、日頃の学習に活かしてほしいと思います。この調査は、2学年までの内容についての定着度を確かめるものでした。どの教科にも言えると思いますが、3学年の学習は、2学年までの内容を踏まえつつ、そこに新たな見方や考え方などを重ねていくものです。この調査結果は、これからの学習に活かすためのものであることを忘れてはいけません。

## (2) 気になるデータ ～苦手から見えてくる『生徒につけてほしい力』とは～

国語、数学、英語ともに、多くの問題で全国平均の正答率を上回っていますが、調査結果データを詳しく見てみると次のような問題で課題が見られます。

### ◇国語（問1－三） 選択式＜知識・技能＞

『単語の活用（助詞なのか、助動詞なのか）について理解しているかどうかをみる』

▲正答率が全国平均以下。知識も大事。決しておろそかにはできない。

### ◇国語（問4－二） 短答式＜思考・判断・表現＞

『語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることができるかどうかをみる』

▲無解答率が16.5%。要点や条件を的確に捉えて、過不足なく表現できるか。

### ◇数学（問4） 短答式＜知識・技能＞

『反比例の関係を表す表の特徴を捉えて、対応する値を求めることができるかどうかをみる』

▲正答率が全国平均以下。

### ◇数学（問7－2） 記述式＜思考・判断・表現＞

『数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる』

▲無解答率27.7%。複数の中から自分なりの手法を選び、的確に表現できるか。

◇実際の問題はこちら

<https://www.nier.go.jp/26chousa/26chousa.html>

ペーパーテストにおいては、一問一答の選択式の方が単純で、正解かどうか判断しやすく、生徒たちにとっては取り組みやすいのは理解できます。しかし、目指すべき『生徒たちに身につけてほしい資質・能力』は、一部ではありますが、次のようにまとめることができます。

- ◇情報を理解し、要点を捉える。
  - ◇その情報を、状況や条件に応じて整理し、考察する。
  - ◇根拠や理由を明確にしながら、学習した内容を使って表現する。

短答式や記述式で正答率が下がることや、無答率が上がっていることに課題を感じます。本校で例年実施している『授業評価アンケート』でも、「授業が難しい」「先生の説明が難しい」とのコメントが見られることがありますが、それはむしろ『ただ覚える学習』ではなく、『自分でしっかり考え、表現する学習』に取り組んでいる証拠かもしれません。

#### ◇英語（問14） 記述式＜思考・判断・表現＞

あなたは、新しく来た留学生に学校生活に慣れてもらうために、学校紹介の冊子を渡すことにしました。「学校で普段行うことを1つ取り上げ」、「それについての説明」を、15語以上30語以内の英語で書きなさい。なお、下の【例】を参考にしてもかまいません。

## Our School Life



※ここには、学校生活の様子についての写真が入ります。

【例】

- ・朝の読書活動
- ・授業
- ・給食
- ・清掃
- ・その他

<解答欄> ※半角で入力してください

<正答例> We have school lunch. We can enjoy our lunch with our friends.

We don't have to bring your lunch. (19語)

▲無解答率10.7%、正答率41.3%。

授業ではこれからも、教科書の題材を中心に、単に正解を求めるような活動ではなく、試行錯誤やねばり強さが必要とされるような活動に取り組むことで、日常生活や将来、社会に出てからその力を発揮してほしいと思います。そういう力が求められているのは明らかで、例えば英語では、神奈川県公立高校入学者選抜の学力検査や英検3級においても、英単語のつづり（スペリング）のみを問う出題はありませんし、英文を日本語に訳す問題はありません。つづりを正しく書ける単語を10に増やすよりも、まず、読めて意味の分かる単語を100に増やし、その限られた語を使って、いかにシンプルに表現し、自分の伝えたいことに近づけるかがポイントと言えます。（「本当はもっとこう言いたいのに…」というもどかしさと戦いながら…）

この調査が「知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力」を測るために実施しているように、【知識・技能】は活用するためのものであり、【思考・判断・表現】の力を使って課題を解決するために必要不可欠なものです。どちらかがより大事というのではなく、【思考・判断・表現】は【知識・技能】によって支えられ、【知識・技能】は【思考・判断・表現】に粘り強く取り組むことではじめて身につくと言えます。日々の授業で、どちらかに偏ることなく、様々な課題に対して粘り強く取り組んでほしいと思います。

## 2. その他の学力・学習状況

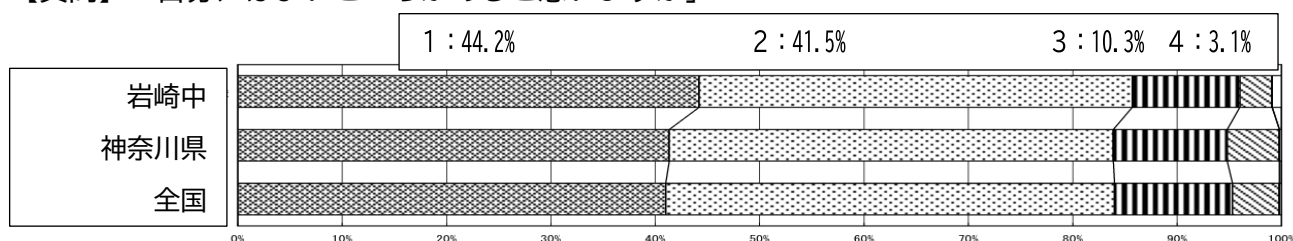
### (1) 自己有用感や心理的安全性等について

様々な質問に対して、生徒たちは次のような選択肢から回答しました。

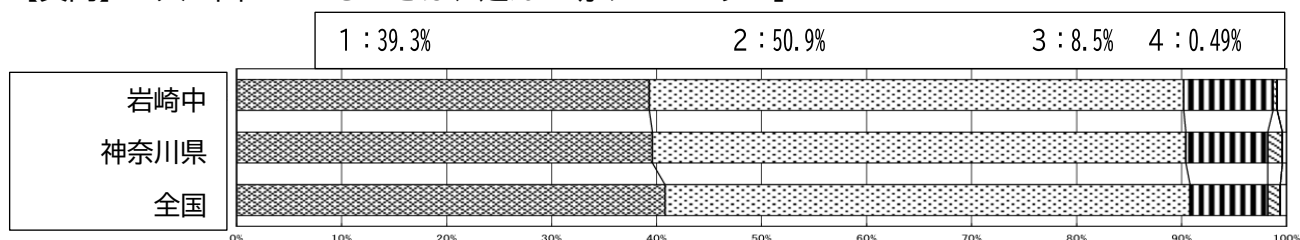
1. 当てはまる      2. どちらかと言えば当てはまる      3. どちらかと言えば当てはまらない      4. 当てはまらない

「自分にはよいところがあると思いますか」や「人が困っているときは、進んで助けていますか」という質問に対しては、1と2を合わせれば全国や県と同じような回答状況でした。また、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問に対して毅然とした回答が見られ、頼もしく感じました。

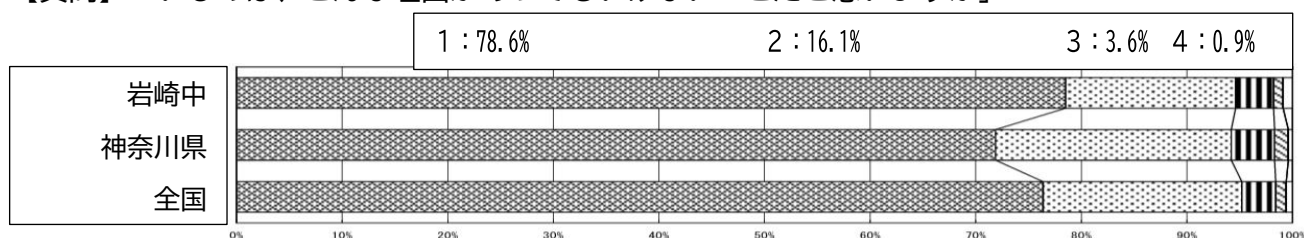
【質問】「自分にはよいところがあると思いますか」



【質問】「人が困っているときは、進んで助けていますか」

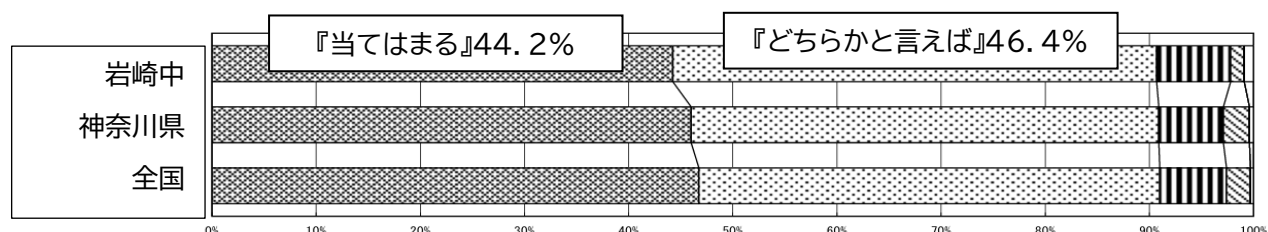


【質問】「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」

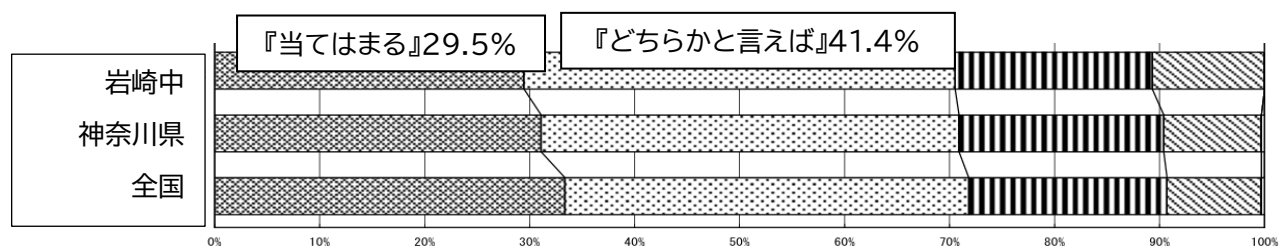


「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」という質問に対して、1と2を合わせれば全国平均並みという結果でした。しかし、3と4を回答した生徒の存在を見過ごすことはできません。本校では、毎年、夏休み明けに『教育相談』を実施していますが、特別な期間だけではなく、日々生徒に寄り添い、その変化に気づくことができるようにコミュニケーションを取り続けます。

【質問】「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」



【質問】「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」

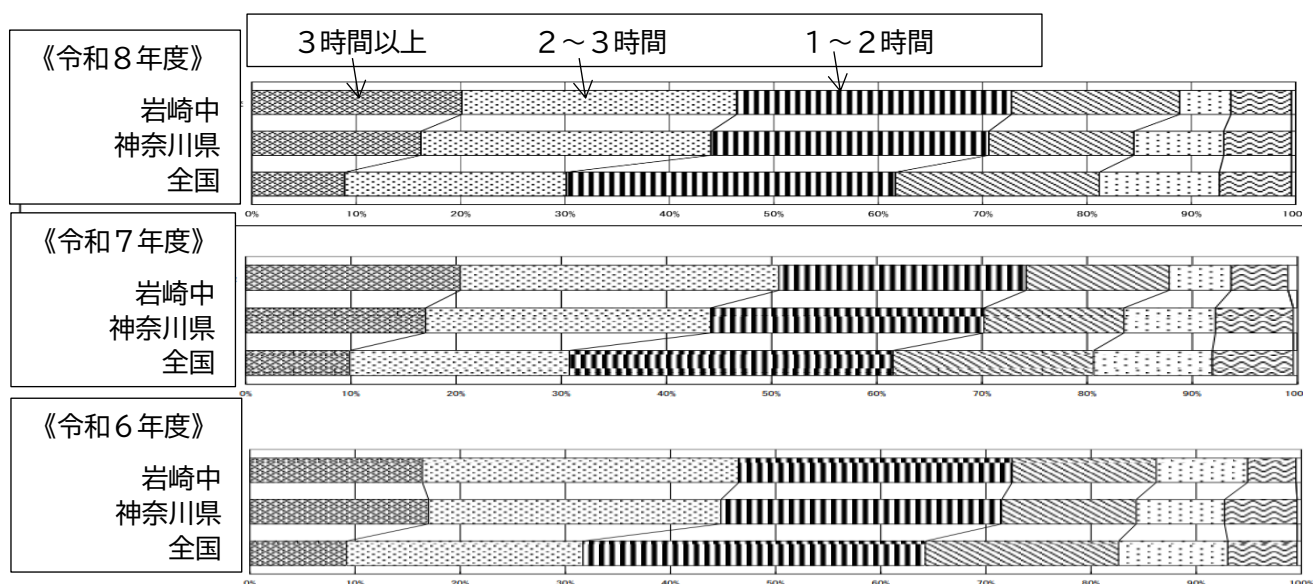


## (2) 生活習慣や学習習慣等について

学校の授業以外での学習習慣として、1日当たりの勉強時間について、「3時間以上」と「2時間以上、3時間より少ない」を足すと50%を超えています。生徒一人ひとりが、それぞれの目標に向かって努力を積み重ねている姿勢がうかがえます。

【質問】「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」

（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます）

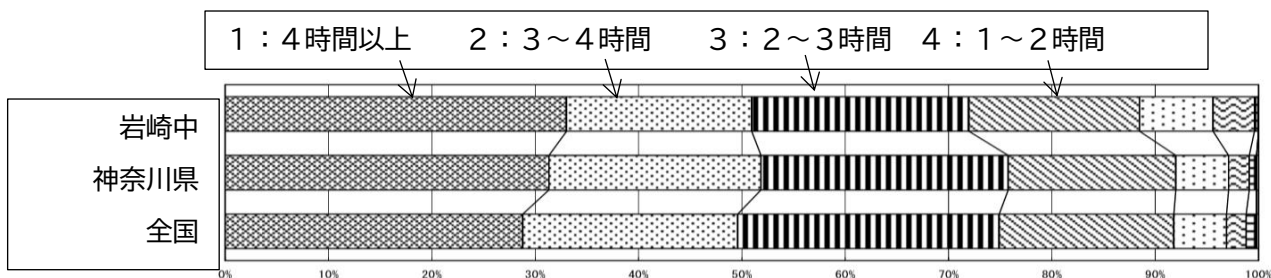


また、ニュース番組でも取り上げられていましたが、SNS や動画視聴の時間は、増加の傾向があるようです。

【質問】「1 日当たりどれくらい、SNS や動画視聴などをしますか」

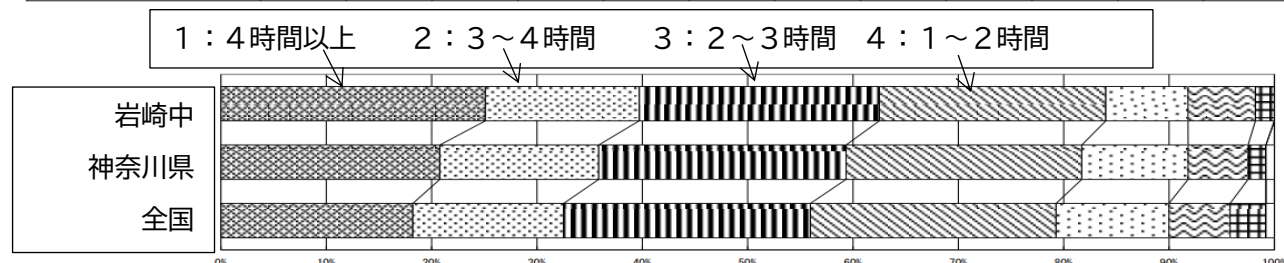
《令和8年度》

| 選択肢      | 1    | 2    | 3    | 4    | 5   | 6   | 7   | 8 | 9 | 10 | その他 | 無回答 |
|----------|------|------|------|------|-----|-----|-----|---|---|----|-----|-----|
| 貴校       | 33.0 | 17.9 | 21.0 | 16.5 | 7.1 | 4.0 | 0.4 |   |   |    | 0.0 | 0.0 |
| 神奈川県（公立） | 31.3 | 20.5 | 23.9 | 16.2 | 5.1 | 2.0 | 0.7 |   |   |    | 0.0 | 0.2 |
| 全国（公立）   | 28.8 | 20.8 | 25.3 | 16.9 | 5.1 | 1.9 | 1.0 |   |   |    | 0.0 | 0.2 |



《令和6年度》

| 選択肢      | 1    | 2    | 3    | 4    | 5    | 6   | 7   | 8 | 9 | 10 | その他 | 無回答 |
|----------|------|------|------|------|------|-----|-----|---|---|----|-----|-----|
| 貴校       | 25.1 | 14.6 | 22.8 | 21.5 | 7.8  | 6.4 | 1.8 |   |   |    | 0.0 | 0.0 |
| 神奈川県（公立） | 20.8 | 15.1 | 23.5 | 22.4 | 10.1 | 5.7 | 1.7 |   |   |    | 0.0 | 0.8 |
| 全国（公立）   | 18.2 | 14.3 | 23.4 | 23.3 | 10.7 | 5.8 | 3.4 |   |   |    | 0.0 | 0.8 |



令和6年度のデータと比べ、「4時間以上」との回答が10ポイント程度増加しているのは、全国的な傾向のようです。その一方で、2時間以内に抑えている約3割の層にエールを送りたいところです。しかし、SNS や動画視聴に限った質問ですから、ゲームや漫画などの時間は加算されていません。塾で3時間学習し、ゲームや動画を3時間ほど楽しみ、食事や入浴の時間も含めれば、寝るのは深夜といったところでしょうか。なんとなくスマホに手が伸びてしまう時間を減らすことで、自分の時間を楽しみつつも、「家族の一員として、自分にできることはやる」ことも大事にしてほしいと思います。

心と体の健康にとって、十分な睡眠は不可欠です。やる気とは、出そうと思ってすぐに出るものではなく、目標を持っていたり、やることが習慣（あたりまえ）になっていることが前提です。それを邪魔するのが睡眠不足であり、細々としたやる気の炎を吹き消してしまいます。就寝時刻を決めて朝型に切り替えるなど、自分なりに工夫してはどうでしょうか。

以上